

特集

どうすりゃいいんだ、 横綱級困難ケース

先日、医学書院から発行された新刊『精神疾患をもつ人を、病院でない所で支援するときにまず読む本 “横綱級” 困難ケースにしないための技と型』が反響を呼んでいます。「横綱級困難ケース」とは、疾患が重症なケースではなく、本人またはその家族との対人関係的な困難さを感じるケースを指します。「くり返し要求してくる」「要求がエスカレートしていく」「頻回に電話してくる」「こだわりが強くクレームが多い」「家族関係の不和（虐待的な関係性）を抱えている」——。思い当たるケースもあるのではないのでしょうか。

本特集では、そのような困難さを生んでしまう要因を探り、現場の方々に試行錯誤の実践をご紹介します。対人的な困難さを生んでいる要因は、支援者側にあったのではと気づくかもしれません。

「横綱級困難ケース」とは何か、 どのように解消できるのか

●小瀬古伸幸

私が出会った横綱級困難ケース

- 眞榮和祐
- 吉永宣之
- 河合英紀
- 阿部智子
- 原子英樹

特別記事

腫瘍熱？感染熱？終末期に寄り添う 訪問看護師ができるケアと対処

●小田切拓也

※一部変更となることがあります

編集後記

訪 問看護ステーションで働く特定行為研修修了者は現在50人弱とのことでした。決して多いとは言えません。ただ、医療依存度が高い方が地域に移行してくると見込まれるなか、特定行為のできる看護師の存在は今後もっと大きなものになるのではないかと想像しながら読みました。今はまだ働き方のモデルさえもきちんと共有されていない段階なのかもしれません。こんなふうにいるよっていう方、ぜひ編集室にお声がけください。まだまだ知りたいことばかりです。…小池

特 定行為研修修了者がいる現場を見せていただきました（p807）。受講中の高関さんの原稿（p803）にも「実際にお仕事されている方にお会いすることができ、大きな刺激を受けました」とあったため、できるだけ橋口さんの看護の姿勢や現場感が伝わるように！と滋賀へ向かいしました。タイミングが難しく取材が締め切り間近だったこともあり、見聞したことを帰りの新幹線でとにかくスマホに向かって文字にしました。橋口さんとステーションの皆さん、そして療養者さんご家族に感謝申し上げます。…米沢

訪問看護と介護 第24巻 第11号（通巻281号） 2019年11月15日発行（毎月1回15日発行）

発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo*2019, Printed in Japan

1部定価：本体1,500円＋税 年間購読料（税抜、送料弊社負担、年間12冊）：12,600円（冊子版）／15,600円（冊子＋電子版／個人）／12,600円（電子版／個人）

販売・PR部：☎03-3817-5659 社内案内：☎03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：☎03-3817-5787 FAX03-5804-0485 担当：小池・米沢・伊藤

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp Twitter @houmonkango Facebook @houmonkangotokaiga

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp/> ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動含む）で上記の行為を行なうことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行なうことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構委託出版物

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

*「訪問看護と介護」は株式会社医学書院の登録商標です。